

的なものを喜ぶんでございますけれども。

(倉橋) さう云ふ事はありません。まあ、私、あの本に關係した時の、皆さんと話合つた心境を基にして言へば、刺戟の多い話が多過ぎたのに對してあゝ云ふ本を作つた云ふ氣持だつたと思ひます。それが過ぎたるは及ばざるが如し、になつて居るかも知れませぬ。それが何の位あつたらうか、云ふ事は解らぬ。又追々ごの位と解つて來るでせうけれども、結論はこれないとして、自分にもいゝお話がたんまりないに困るので、實は幼稚園協會に於きまして、來年、幼稚園に相應はしき童話を募集、廣く世に募集したいと思つて居るのであります。色々な懸賞をつけて募集したいと思つて居ります。これは是非皆様にも應募して頂きたい。本協會主催のことでありますから今から申上げておきます。

さあ、其處で残る保育項目

○觀察・唱歌

(八木澤) 子供がお話へ自分で作つたお話を致します。

それは私から纏めいゝお話が、外遊びの出來ます時に、庭が廣いのでお庭で遊んで居ります時に、自分達が觀察云云ふ事で質問致します。それを忙しい時には、「一寸待つて頂戴ね」つて頼んでおきまして、翌る日か都合のいゝ時に聞いて居ります。その事が今頃になりまして、時期が過ぎました今、自分からお話させます時にそのお話が這入つて來ます。蟲の話とか木の話、そんな話を私達が聞くに、嬉しくつて仕様がなものですから自分のお話が大變多くなります。大變に觀察の方になつて行くのでございませうが、そんな話は子供の言つた時に、子供の間違つて居た時には一寸口を入れた方がいゝでせうか。子供が折角空想してさう云ふ風に話をして來た時に「あゝさう」言つて聞いて居た方がいゝでせうか。

(倉橋) 何うでせうか。堀さん。間違つて居れば直すんでせうね。

(堀) 其處の程度、子供が空想的なお話にしてつて居ればそれを無理にさうも、あれが話して居るから言つて咎むべきではない。言葉が違つて居る事は後で直してもい

い。その話の中でもい。

(倉橋) うれしいお説ですね。流石に偉い。實にさうです。

(堀) それと同時に唱歌、これだけ教へ度いミ云ふ唱歌、それはありませぬか。それによつてこの唱歌の時間も決つて来る。

(水野) 私の方でさう云ふ問題が出まして、時間ミ言つてはいけませんねが、回数に關しまして、一寸配當ミ云ふ程でもないのですけれど、これだけのものは是非教へ度いミ云ふものを擧げて見たのでございます。公けには出来ないのでございますが、近藤先生が主任で調べて下さいましたが、かなりございしますが、方々の幼稚園から集めました子供の好きだミ云ふものを集めて見たのでございますが。

(堀) これが小學校になるミ大變問題になつて來るのですが。それでまあ、この唱歌時間配當が問題になつて來て、もう時間も八時になつてお困りです。

(倉橋) このポイントだけ、一つ述べておいて下さい。このお話を纏める迄。

(堀) 小學校の先生の方のは、小學校でやるのを幼稚園

でやつて、程度の高いものをやつて悪い癖をつけて貰ふに困る。幼稚園では小學校でやる様なものを無理にやつて貰はぬ方がいゝ、ミ云ふのが小學校の唱歌あたりを持つて居る先生の要求。それでその小學校の方では、幼稚園で唱歌を習つて來たから、もうこれは習ひましたから、ミ云ふので、幼稚園保育を小學校で否定する論據が潜んで居ると思ふ。其處で私の考からすれば、幼稚園に適當なものがあるか、ないか知りませぬけれども、何れ位この、やらなければならぬ、ミ云ふ事が出來て來、それからそれに相當したものがあるか、差支へなければ幼稚園協會で募集して頂いて、談話ミ同じ様に。

(倉橋) それは結構です。

(坂内) 音樂教材はそれで生れたのですか。

(堀) 幼稚園では材料が出て來ないので困つて居る。

(倉橋) 菊池さん、貴女の幼稚園では。(笑聲)

(菊池) 二週間に一つか三週間に一つ教へ度いと思つて居りますが、小學校ミ重複しない様な。主觀的に氣に入つ

た唱歌がなくなつて困つて居ります。二週間に一つか三週間に一つ新しいのを。その唱歌の難しい程度にもよりますが、二週間に一つか三週間に一つ新しいのを教へ度いと思つて居ります。

(堀) 平均二週間に一つにするに二つ一年に二十位ですか。

(倉橋) それさずつみ、かけ離れた数をお考へになつて居る方ありませんか。一年に新しい歌を一つ、云ふ様に

……。(笑聲)

(留岡) 私の方はもつと澤山。大概一週間に一つ。

(倉橋) 先生がお聲がいゝさうなる。(笑聲)それは教材の問題は多ければ多い程、さう云ふ問題は、結果は兎に角、氣をつけていらつしやるに多くなつて来るのですね。

一週間に一つ位ですか。

(留岡) 秋ならば菊さか落葉さか紅葉さか、時期で。兵

隊さつこさか色々。

(倉橋) その所謂ネタがありますな。

(白根) 私の方も多いのです。お唱歌の先生さよく連絡

をこつて居ります。小學校を重複するものを教へ度い時は見て頂くので、小學校の先生も幼稚園で教へてちつとも差支へないに仰有るので、後で直すのも研究になるから思ふ通りにおやりなさい云ふので、材料はさても豊富になつて従つて多くなるのでございませう。

(倉橋) 八時なんです、もう一寸延ばして頂いて。

○手技に就て

手技の問題も一つ一番初めに大いに出た話ですけれども、保育項目の扱ひさして入れておき度いと思ひますが、これは他の保育項目に比べますと、餘ッ程生活的で、自然の中に生活誘導云ふものでやつて居る。生活の中からさつと指導が導びかれに導びかれる、云ふに丁寧ですが、或はプロジェクトでお育てになつたものさ、子供が自然に探し出したものをテクニクの指導の方に導いて行くものも出来るし、随分かう云ふ問題があるのですが、所謂手技を手技さして保育项目的にする云ふ様な事は徳久さん、何うやつていらつしやいますか。